

2015.1.17



新春名曲コンサート2015



プログラム

2015年新年最初のCDコンサートは恒例の新春名曲コンサートです。親しみやすい名曲の数々をお楽しみください。5回目の登場となったメータ指揮による今年のニューイヤーコンサートから2曲。名ソプラノバーバラ・ヘンドリックスによるフォーレの名曲を2曲。名手ローザンドによる2曲は、クライスラー編曲によるラフマニノフと、その曲名通りジュプシーの旋律がたっぷりの名曲“ツイゴイネルワイゼン”です。今年はシベリウス、ニールセン、スクリャービン、グザノフ等北欧、ロシアの作曲家のアニヴァーサリー・イヤーに当たり特集も予定していますが、今日は生誕150年を迎えたフランスの作曲家デュカスの代表作“魔法使いの弟子”とシベリウス特集に先駆けて、名作“フィンランディア”を珍しい合唱付の演奏でお送りします。“フィンランディア”といえば国民賛歌にもなった愛国心溢れる名曲ですが、イギリスで第2の国歌と言われているのが、エルガーの“威風堂々”第1番です。今日は息子パーヴォ、父ネーメのヤルヴィ親子による競演でお楽しみください。最後は国民楽派を代表するドヴォルザークの名曲、交響曲第8番をこの曲を最も得意にしていたセルが珍しくボストンで行なった演奏で締めくくります。本年もよろしく御願ひ致します。

ヨハン・シュトラウス二世 (1825~1899):

ワルツ“酒・女・歌” op.333

爆発ポルカ op.43

ズービン・メータ指揮 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

(2015.1.1 ウィーン・ムジークフェラインサールでの生Live ~ニューイヤーコンサート2015より~)

ガブリエル・フォーレ (1845~1924):

歌曲“月の光” op.46-2 / 歌曲“夢のあとに” op.7-1

バーバラ・ヘンドリックス (ソプラノ) / スタッフアン・シェイヤ (ピアノ)

(1987.12.8 東京文化会館でのLive)

セルゲイ・ラフマニノフ (1873~1943) ~クライスラー編曲:

祈り (ピアノ協奏曲第2番第2楽章より)

パフロ・テ・サラサーテ (1844~1908):

ツイゴイネルワイゼン op.20

アーロン・ローザンド (ヴァイオリン) / ヒュー・サング (ピアノ)

(2004.5.13 王子ホールでのLive)

ジャン・シベリウス (1865~1957):

交響詩“フィンランディア” op.26

パーヴォ・ヤルヴィ指揮 エストニア国立交響楽団 / エストニア国立男声合唱団

(2007.5.26 エストニア・コンサートホールでのLive)

エドワード・エルガー (1857~1934):

行進曲“威風堂々” 第1番 op.39

ネーメ・ヤルヴィ指揮 ロイヤル・スコティッシュ・ナショナル管弦楽団

(1987.10.4 サントリーホールでのLive)

*** 休憩 ***

ポール・デュカス (1865~1935):

交響詩“魔法使いの弟子”

ヘルベルト・ブロムシュテット指揮 シュトゥットガルト放送交響楽団

(1993.1.22 シュトゥットガルト、ヘーゲルサールでのLive)

アントニン・ドヴォルザーク (1841~1904):

交響曲第8番ト長調 op.88 全曲

ジョージ・セル指揮 クリーヴランド管弦楽団

(1966.2.16 ボストン・シンフォニーホールでのLive)